

平成 23 年 7 月 5 日

東日本大震災による岩手県内の被害状況について

NOSAI 岩手 事業部 家畜課

<岩手県畜産関係の被害概要（岩手県ホームページより、表 1 参照）>

- ① 乳用牛・肉用牛（盛岡市、一関市および陸前高田市）においては、地震での被害頭数 9 頭、津波による溺死・行方不明等での被害頭数 8 頭、総計 17 頭、4,000 千円となった。
- ② 種豚、肉豚（岩手町、一関市および野田村）については、停電・飼料不足による被害頭数 1,463 頭、被害額については現在調査中である。
- ③ 採卵鶏・ブロイラー（盛岡市、八幡平市、岩手町、滝沢村、矢巾町、北上市、金ヶ崎町、一関市、藤沢町、久慈市、洋野町、野田村、二戸市、軽米町、九戸村および一戸町）においては、停電による暖房停止等による凍死等により被害頭数 2,965 千羽、被害額 1,276,000 千円に及んだ。
- ④ 生乳廃棄（盛岡市、八幡平市、雫石町、葛巻町、岩手町、滝沢村、紫波町、矢巾町、花巻市、北上市、西和賀町、遠野市、一関市、藤沢町、大船渡市、陸前高田市、大槌町、住田町、宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村、久慈市、洋野町、野田村、普代村、二戸市、軽米町、九戸村および一戸町）については、停電による冷却停止、燃油不足による集荷不能により 4,391 千kg、被害額 444,000 千円であった。
- ⑤ 津波により畜舎等 5 棟が一部損壊であった。

表 1 平成 23 年 6 月 22 日現在の被害状況（単位：千円）

畜種	頭羽数等	推定概算被害額
家畜(乳牛・肉用牛)	17 頭 (8 頭)	4,000 (2,177)
家畜(種豚・肉豚)	1,463 頭 (71 頭)	調査中 (358)
家畜(採卵鶏・ブロイラー)	2,965 千羽	1,276,000
生乳の廃棄	4,391 千kg	444,000
畜舎等	5 棟	
被害額		1,724,000 (種豚・肉豚、畜舎被害を含まず)

* () 内は家畜共済被害頭数・被害額

<地震による県内 NOSAI 家畜診療所の対応状況>

- 3/15
- ・ 一部、停電による電話不通のため状況不明。
 - ・ それ以外は、ガソリン、医薬品不足なため急患対応のみ。
 - ・ 酪農で乳房炎多発傾向。牛舎半壊で搾乳に支障。
- 3/18
- ・ ガソリン、医薬品不足が続き、一部を除き急患対応で診療。
 - ・ 沿岸被災地域の診療は休診状態。
- 3/23
- ・ 県北では給油可能になり、通常診療（人工授精も再開）を行う。
 - ・ 県南では給油制限があり急患対応が続く。
 - ・ と畜場について豚は 3/23 から、牛病畜は 3/24－25 稼動それ以降未定。
 - ・ 飼料流通は 20%程度。豚において給与不足による衰弱死発生。
 - ・ 沿岸被災地域で給油可能に（診療開始するも依頼少ない）。
- 3/25
- ・ 診療所の医薬品配達が一部可能に。支障ないほどに改善された。
 - ・ と畜場一日上限 10 頭で 3/28 休み 3/29 稼動 3/30 休み 3/31 未定。
- 3/28
- ・ 県南のガソリン不足が改善され、一部通常診療を行う。
- 3/29
- ・ 家畜市場は中央市場が 3/28 から再開。
 - ・ 県南でも給油可能に、通常診療に。
- 3/30
- ・ 一部の 24 時間ガソリンスタンド営業再開。
- 3/31
- ・ 飼料流通は 50%程度に改善。給与不足による衰弱死も改善されつつある。
 - ・ 乳量減少が見られる。
- 4/1
- ・ と畜場の方も通常状態に戻った。

2 次的被害としては、流通が滞り燃料不足や飼料不足が見られました。

燃料不足は、家畜の診療や生乳集荷に影響を及ぼし、また停電・飼料不足による家畜の被害が見られました。診療所では他に医薬品の不足も生じ業者等の協力を得ながら、流通が元に戻るまで対応していただきました。

被災された皆様にご心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。（NOSAI 岩手）